

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-519722(P2008-519722A)

【公表日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-540517(P2007-540517)

【国際特許分類】

B 6 0 B	35/14	(2006.01)
B 6 0 B	35/18	(2006.01)
F 1 6 D	3/223	(2006.01)
F 1 6 D	3/20	(2006.01)
F 1 6 D	3/227	(2006.01)

【F I】

B 6 0 B	35/14	U
B 6 0 B	35/18	A
F 1 6 D	3/223	D
F 1 6 D	3/20	K
F 1 6 D	3/227	E

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(46, 76)に、外側の軸歯列(54, 84)を備えたピン(53, 83)が一体成形されており、貫通開口(59, 89)の内側の軸歯列(44, 74)と、ピン(53, 83)の外側の軸歯列(54, 84)とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け(43, 73)が、ホイールハブ(60, 90)に被せ嵌められており、該ホイールハブ(60, 90)が、内側の軸受けレース(64, 94)を有しており、該軸受けレース(64, 94)に、ジョイント外側部材(46, 76)の端面(52, 82)が直接支持されている形式のものにおいて、

ジョイントボールのピッチ円直径P C Dと、軸受け幅B_Lとから求められる総和の半分が、等速ジョイント(42, 72)とホイール軸受け(43, 73)との間の中間間隔A_{G L}よりも大きい、すなわち、(P C D + B_L) / 2 > A_{G L}であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項2】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(46, 76)

46, 76)に、外側の軸歯列(54, 84)を備えたピン(53, 83)が一体成形されており、貫通開口(59, 89)の内側の軸歯列(44, 74)と、ピン(53, 83)の外側の軸歯列(54, 84)とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け(43, 73)が、ホイールハブ(60, 90)に被せ嵌められており、該ホイールハブ(60, 90)が、内側の軸受けレース(64, 94)を有しており、該軸受けレース(64, 94)に、ジョイント外側部材(46, 76)の端面(52, 82)が直接支持されている形式のものにおいて、

等速ジョイント(42, 72)とホイール軸受け(43, 73)との間の中間間隔 A_{GL} と、ピンベースにおけるピン直径 D_z とから求められる比が、2よりも小さい、すなわち、 $A_{GL} / D_z < 2$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項3】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(46, 76)に、外側の軸歯列(54, 84)を備えたピン(53, 83)が一体成形されており、貫通開口(59, 89)の内側の軸歯列(44, 74)と、ピン(53, 83)の外側の軸歯列(54, 84)とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け(43, 73)が、ホイールハブ(60, 90)に被せ嵌められており、該ホイールハブ(60, 90)が、内側の軸受けレース(64, 94)を有しており、該軸受けレース(64, 94)に、ジョイント外側部材(46, 76)の端面(52, 82)が直接支持されている形式のものにおいて、

ホイール軸受けのピッチ円直径TKDと、ピン長さ L_z とから求められる比が、2よりも大きい、すなわち、 $TKD / L_z > 2$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。

【請求項4】

ホイールハブ・等速ジョイントユニットであって、ホイールハブ(60, 90)が、貫通開口(59, 89)を備えており、該貫通開口(59, 89)が、内側の軸歯列(44, 74)を有しており、ホイールハブ(60, 90)が、固定式等速ジョイント(42, 72)のジョイント外側部材(46, 76)に緊締されており、該ジョイント外側部材(46, 76)に、外側の軸歯列(54, 84)を備えたピン(53, 83)が一体成形されており、貫通開口(59, 89)の内側の軸歯列(44, 74)と、ピン(53, 83)の外側の軸歯列(54, 84)とが内外で係合しており、二列のホイール軸受け(43, 73)が、ホイールハブ(60, 90)に被せ嵌められており、該ホイールハブ(60, 90)が、内側の軸受けレース(64, 94)を有しており、該軸受けレース(64, 94)に、ジョイント外側部材(46, 76)の端面(52, 82)が直接支持されている形式のものにおいて、

等速ジョイント(42, 72)とホイール軸受け(43, 73)との間の中間間隔 A_{GL} と、ピン長さ L_z とから求められる比が、1.95よりも大きい、すなわち、 $A_{GL} / L_z > 1.95$ であることを特徴とする、ホイールハブ・等速ジョイントユニット。